

若者の意見をまちづくりに反映 令和4年度 八代市中学生議会を開催



令和4年度八代市中学生議会が8月9日に八代市議会本会議場で開催されました。これは、将来の八代市を担う子どもたちの市政への関心を高め、まちづくりに進んで参画しようとする意欲を育むために3年に1度開催されているもので、今回で3回目です。市内全17校から各2人が中学生議員として登壇し、通学時の安全確保やスポーツ活動の推進、防災対策の充実など、さまざまな分野の質問を中村博生市長や北岡博教育長らに投げかけました。各学校からの質問と執行部の答弁を抜粋して紹介します。 **問合せ 秘書広報課 ☎ 33-4101 ▲動画はコチラ**



1 日奈久中学校



日奈久地区の活性化
Q 日奈久地区の持続的な活性化のためにどんな対策をしているのか
A 直近では、温泉とウォーキング、食べ歩き、街めぐりを融合した地域一体型イベントを企画した。観光都市を目指して四季折々のイベントの支援など、さまざまな取組を進めていく。



6 第八中学校



宮地校区におけるバス停増設など公共交通機関の充実
Q ICT活用など公共交通サービスにおける新たな取組を知りたい
A 自家用有償旅客運送制度やAIを活用したタクシーの配車システムの導入などを予定しており、今後も公共交通への関心を高めるとともに利用者数の増加を図っていく。

2 千丁中学校



スポーツ活動の推進と環境整備
Q 地域に根差したスポーツ活動の今後の取組を知りたい
A 「フライングディスク」や「バルバレー」などニュースポーツの実技指導員派遣や用具の無料貸出など、誰もが気軽に地域スポーツに親しむことができる取組を引き続き進めていく。

4 泉中学校



人と自然が調和する町づくり
Q 泉町の魅力を発信するための今後の取組を知りたい
A ふれあいセンターいづみの運営や、「平家いづみお茶まつり」「紅葉祭」の開催、五家荘地域の振興など、泉町の文化・自然を活かした観光客誘客に取り組む。

7 第四中学校



スポーツに親しむまちづくり
Q 中学校の部活動はいつから地域移行するのか
A 令和3年10月に「中学校部活動改革検討委員会」を設置した。課題などを整理し、令和5年度から移行可能となった学校および部活動ごとに順次移行していく。

3 第七中学校



カーボンニュートラルの実現
Q 2050年までの脱炭素実現のために私たちにできることはあるか
A 冷房使用時の適切な室温管理や部屋の明かりのこまめな消灯、燃えるごみの減量化など、皆さんで取り組むことにより、大きな成果が得られるので協力をお願いする。

5 第三中学校



地域の避難所をはじめとした防災拠点施設の充実
Q 避難所指定された学校の体育館にもエアコンを設置するのか
A 長期避難や台風時の避難所として指定する小中学校18校の体育館に、来年度から年6校ずつ、3年間でエアコン設置工事を行う予定である。

8 八代支援学校中学部



歩行・自転車での通行の際、道路にある電柱が障害となることについて
Q 歩道にある電柱を歩道の外に移動できないか
A 電柱は民間企業が設置し民有地または道路に設置している。電柱建て替えや道路改良工事の際に土地所有者の承諾を得た場合は民有地へ移設している。その他、無電柱化事業も実施している。

9 第六中学校



デジタル機器を活用したより良い地域社会づくり
Q デジタル機器に詳しくない人向けに学べる機会を増やせないか
A 今年度初心者向けスマホ教室を市内全校区で開催する。今後は、学校や地域社会を含めてより幅広い方々を対象とした講習会なども企画していく。



14 第一中学校



八代市適応指導教室の充実
Q 教室に通う生徒の精神面をサポートする具体的な取組を知りたい
A 県教育委員会からのスクールカウンセラーの配置により、気軽に悩みを相談できる体制を整備している。一人一人のペースに合わせて寄り添った指導を心掛けている。

17 坂本中学校



坂本町の復興
Q 坂本に住みたい人が増えるような復興イメージや取組を知りたい
A 宅地かさ上げや輪中堤整備などの安全安心なまちの実現の他、憩いの場の配置や自然を活かした観光資源のPR活動など、坂本町のさらなる発展を目指した創造的復興を進めていく。

10 第五中学校



熊本豪雨後の防災対策
Q 高田駅周辺の道路の下に水をためるところを作れないか
A 冠水対策として日奈久新開町にある流藻川河口に強制排水を行うポンプ場の設置が予定されている。それまでは道路側溝や排水路の改修、土砂の撤去により対応する。

12 第二中学校



くまモンポート八代について
Q くまモンポート八代の知名度向上に向けた今後の取組を知りたい
A 寄港予定のクルーズ船情報を発信するとともに「みなと八代フェスティバル」などのイベント開催時には、市のHPや広報紙、SNSなどで積極的な情報提供を行っていく。

15 東陽中学校



八代を創造した石工たちの軌跡
Q 中学生ガイドを活用した日本遺産PR事業を展開できないか
A 日本遺産のガイドを中学生が担うことは、日本遺産の認知度向上だけでなく、歴史・文化の次世代への継承にもつながる取組であるため、具体的に検討していく。

11 八代中学校



通行時における水路への転落防止
Q 今後水路の蓋を設置する計画はあるのか
A 水路は定期的に清掃する必要があるため、原則蓋設置は行わない。ただし、交通量が多い通学路などで転落の恐れがある場合には、各校区からの要望や危険度など総合的に判断し、蓋を設置している。

13 鏡中学校



マンガ県くまもとに関する八代市の取組
Q 企業と連携した漫画やアニメのビジネスについて今後の取組を知りたい
A AOI.pro (アオイプロ) という映像制作会社と連携したイベントの開催を予定している。コンテンツ産業をはじめ、若い世代が仕事を選擇できる環境を作っていく。

16 二見中学校



二見校区の通学路における安全確保
Q 防犯対策を強化するため、もっと防犯灯を設置できないか
A 二見校区では、今年度7灯の防犯灯整備の支援を予定している。うち新規1灯とLED灯に更新する2灯の合計3灯は、通学路に設置される予定である。

